

大使館情報

2021年7月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会
- (2) ボルソナーロ政権支持デモの発生
- (3) 反政府デモの発生
- (4) 閣僚の交代
- (5) ボルソナーロ政権の支持率

[外交]

- (1) フランサ外務大臣の国際会議への出席
- (2) ファリーア通信大臣の訪米
- (3) 伯の国連安保理非常任理事国への選出
- (4) アルテミス合意署名式典の開催
- (5) 対キューバ制裁解除に関する国連総会決議
- (6) 対ベネズエラ国境封鎖の解除

3. トピックス

- (1) 「日本人移住の日」に際して：菅総理大臣、茂木外務大臣、山田大使の寄稿、伯日議連による記念動画配信、ハローキティとの「大使とカフェ」
- (2) 橋場総領事のブラジル企業訪問（在リオデジャネイロ総領事館）
- (3) 日本酒紹介イベントの実施（在リオデジャネイロ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント

- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（6月発表の経済指標）

- (ア) 2021年第1四半期のGDP成長率は前期比+1.2%（3四半期連続の増加）、前年同期比+1.0%（5四半期ぶりの増加）となった。
- (イ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）に関して、6月25日時点で、GDP成長率予測については、2021年は5.05%（前週より0.05%ポイント上昇）で、2022年は2.11%（前週より0.01%ポイント上昇）となった。インフレ率については、2021年は5.97%（前週から0.07%上昇）で、2022年は3.78%（前週から変わらず）となった。
- (ウ) 4月の鉱工業生産指数は前月比▲1.3%、前年同月比は+34.7%となった。
- (エ) 4月の小売売上高は前月比+1.8%、前年同月比+23.8%となった。
- (オ) 失業率（2021年2～4月）は14.7%となり、2021年1～3月の移動平均14.7%から横ばいとなった。前年同期比（2020年2～4月）では2.1%ポイント上昇した。
- (カ) 5月の拡大消費者物価指数（IPCA）は0.83%の上昇となり、前月の0.31%から0.52%ポイント上昇。直近12カ月累計は8.06%となった。
- (キ) 2021年6月の貿易収支は103.7億ドルの黒字。2021年1～6月の累計は374.96億ドルの黒字。

(2) 経済政策等

- (ア) 6月21日、国営電力会社エトロブラス社の民営化を可能にする暫定措置案が下院にて承認された（6月17日に上院にて同案は可決されていたが、法案内容に変更があったことから下院で再審議されていたもの）。今後、大統領裁可に付される。
- (イ) 6月25日、ゲデス経済大臣は、所得税の非課税所得の引上げや法人税率の引下げ等を含む税制改革案を議会へ提出した。

(3) 金融政策

6月17日、伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は政策金利（Selic）を0.75%ポイント引き上げて4.25%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引き上げは3月、5月に引き続き3会合連続。次回会合は8月3日及び4日。

(4) 為替市場

- (ア) 6月の為替市場は4.91～5.15リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.03～5.15リアル/ドルで推移。好調な経済指標や伯中銀が断続的な利上げを行うとの見方等から1ドル=5.03リアル台へ上昇。

(ウ) 月の後半は 4.91～5.09 レアル／ドルで推移。経済見通しの上方修正や伯中銀が利上げ幅を拡大するとの見方の他、米国の金融緩和策の早期縮小懸念の後退によりレアルが上昇。6月22日には、1ドル＝4.95 レアルと2020年6月以来初めて5.00 レアルを下回って取引終了した。

(5) 株式市場

(ア) 6月の株式市場は128,267～130,776 ポイントで推移。

(イ) 月の前半は経済見通しの上方修正、資源価格の上昇、米国の金融緩和策の早期縮小への懸念後退等を材料に上昇、6月4日には130,000 ポイント台で取引を終えるなど高水準で推移。

(ウ) 月の後半は126,802～129,514 で推移。米国の金融政策動向に係る高官発言で一進一退となり、コロナウィルスワクチンを巡る疑惑や税制改革による増税懸念で下落傾向。

2. ブラジル政治情勢（6月の出来事）

【内政】

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

6月、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会（CPI）の証人喚問及び参考人招致が行われ、ニーゼ・ヤマグチ医師（1日）、ルアーナ・アラウージョ医師（2日）、ケイローガ保健大臣（8日）、エルシオ・フランコ前保健省次官（9日）、パステルナッキ・サンパウロ大学研究員及びマイエロヴィッチ元衛生監督庁（ANVISA）長官（11日）、カンペーロ前アマゾナス州保健局長（15日）、ヴィッツェル前リオデジャネイロ州知事（16日）、オズマール・テーハ下院議員（22日）、ヴェルネッキ・アムネスティ・インターナショナル伯事務局長及びハラール・ペロタス連邦大学教授（24日）、ルイス・ミランダ下院議員及びリカルド・ミランダ保健省ロジスティクス局輸入部長（25日）、ヴィエイラ・ドス・サントス・アマゾナス州議会議員（29日）並びに実業家のカルロス・ウィザード氏（30日）が供述を行った。

(2) ボルソナーロ政権支持デモの発生

6月12日にサンパウロ州サンパウロ市とジュンジャイー市の間において、ボルソナーロ大統領を支持するバイク車列デモが行われた。また、6月26日、サンタカタリーナ州シャペコー市において、同大統領支持バイクデモが行われた。両方のデモにおいて、ボルソナーロ大統領が車列を先導した。

(3) 反政府デモの発生

6月19日、25州都及び連邦直轄区（DF）において、反ボルソナーロ政権及び新型コロナウイルスワクチンの擁護を訴えるデモが発生した。

（４）閣僚の交代

6月23日、サレス環境大臣が辞任した。次期環境大臣には、ジョアキン・レイテ環境省アマゾン・環境サービス局長が任命された。

（５）ボルソナーロ政権の支持率

（ア）6月11日、IPESPE社（XP Investimentos社委託）による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は26%（前回調査：29%）に下落し、不支持率は50%（前回調査：49%）に上昇した。

（イ）6月24日、IPEC社による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は24%（前回調査：28%）に下落し、政権発足後の最低水準を記録した。不支持率は49%（前回調査：39%）に上昇。

【外交】

（１）フランス外務大臣の国際会議への出席

（ア）6月1日、フランス外務大臣は、BRICS外相テレビ会合に出席し、ワクチン製造における協力及びCovishieldの輸入アクセス等を各国に求めた。

（イ）6月29日、フランス外務大臣は、G20マテラ外相及び開発大臣関連会合にリモート形式で出席し、現在の危機に対して最良の形で対応するため、また、保健や貿易といった将来的な課題に備えるため、国際制度の改革の必要性を強調した。

（２）ファリーア通信大臣の訪米

6月8～10日、ファリーア通信大臣が米国を訪問し、米務省、国家安全保障会議（NSC）及び国土安全保障省との間で5G技術について協議した。

（３）伯の国連安保理非常任理事国への選出

6月11日、伯外務省は、伯が2022～23年の国連安保理非常任理事国に選出された旨のプレスリリースを発出した。伯が国連安保理非常任理事国を務めるのは11度目となる。

（４）アルテミス合意署名式典の開催

6月15日、大統領府において、伯のアルテミス合意署名式典が開催され、ボルソナーロ大統領立ち会いの下、ポンテス科学技術革新大臣が合意文書に署

名した。

(5) 対キューバ制裁解除に関する国連総会決議

6月23日、伯は、キューバ制裁解除に関する国連決議において棄権票を投じた。

(6) 対ベネズエラ国境封鎖の解除

6月24日、伯政府は、対ベネズエラ国境の封鎖を解除する旨の政令第665号を発出した。

3. トピックス

(1) 「日本人移住の日」に際して：菅総理大臣、茂木外務大臣、山田大使の寄稿、伯日議連による記念動画配信、ハローキティとの「大使とカフェ」

(ア) 6月18日の「日本人移住の日」に際し、菅総理大臣、茂木外務大臣、山田大使は、それぞれニッケイ新聞に寄稿し、厚い信頼関係で結ばれた現在の日伯関係の礎を築いた日系社会の皆様へ敬意を表しました。記事全文は、以下からご覧ください。

・菅総理大臣：

<https://www.nikkeishimbun.jp/2021/210618-21especial.html>

・茂木外務大臣：

<https://www.nikkeishimbun.jp/2021/210618-22especial.html>

・山田大使：

<https://www.nikkeishimbun.jp/2021/210618-23especial.html>

(イ) 伯日議連（会長：ニシモリ連邦下院議員）の主催で、「日本人移住の日」を記念する動画がオンラインで配信されました。同動画には、日本政府からは、麻生太郎副総理（日伯議連会長）、河村建夫議員（日伯議連事務局長）、及び山田彰駐ブラジル日本国大使が参加しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=A1tlPr52xoA>

(イ) 当館のオンライン動画企画「大使とカフェ」にハローキティを招待し、ハローキティと山田駐ブラジル日本大使との間で日系社会をテーマに対談を行う動画を公開しました。

<https://youtu.be/FnXyMNFoqw>

(2) 橋場総領事のブラジル企業訪問（在リオデジャネイロ総領事館）

6月16日、リオデジャネイロ市所在のIMBEL社リオ工場を橋場総領事が訪問した。今般の訪問はブラジル日本無線（JRC do Brasil Empreendimentos

Eletrônicos Ltda) と IMBEL 社が LTE 無線通信機器に関する協力に合意したことを受けたもの。

訪問に際し、橋場総領事より両社の更なる関係強化と発展、日伯友好の進展等を祈念する祝辞を述べるとともに、同社の通信機器に関する研究開発・製造部門の視察を実施した。



IMBEL・リオ工場にて



通信機器の製造現場視察

斉藤・JRC do Brasil 社長、Mattioli・IMBEL 社長らと記念撮影

(3) 日本酒紹介イベントの実施（在リオデジャネイロ総領事館）

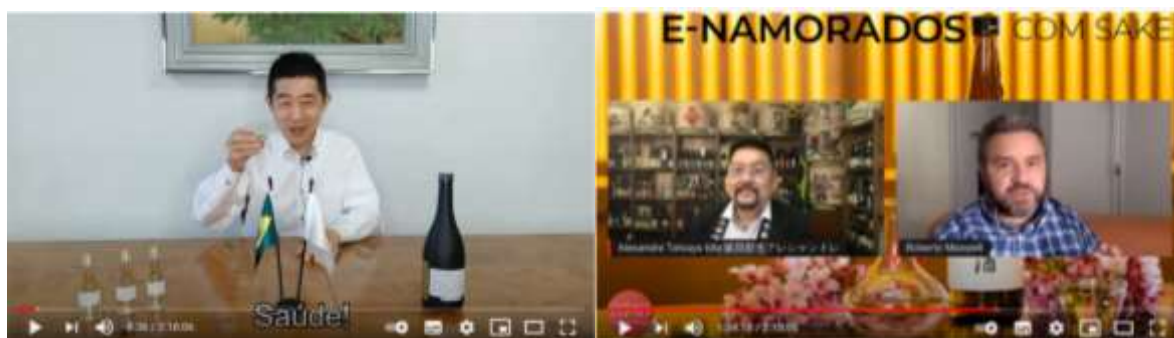
6月10日、在リオデジャネイロ総領事館は、12日の「Dia dos Namorados（恋人の日）」に先立って、「E-NAMORADOS COM SAKE（日本酒に恋して）」と題し、日本酒の魅力を紹介するオンラインイベントを開催した。

イベントでは、飯田アレシャンドレ氏（酒サムライ）が日本酒の基礎情報、日本酒に合う料理等を紹介し、ロベルト・マックスウェル氏（日本在住ブラジル人日本酒ジャーナリスト）は自身が酒蔵を訪問した際の動画を発信するとともに、酒蔵見学等を通じた日本観光の魅力についてレクチャーを行った。

橋場総領事の冒頭挨拶の他、永田展之兵庫県ブラジル事務所長が挨拶を行い、リオ市と神戸市の姉妹都市関係を踏まえた兵庫県産日本酒の紹介、兵庫県紹介動画を発信した。

本イベントは以下のリンク先にて公開中。

<https://www.youtube.com/watch?v=ogT7E9UyE2Q>



4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) +Japão (国際交流基金)

日時：7月24日(土)

サイト：<https://www.youtube.com/user/museudaimigracao/featured>

内容：サンパウロ州移民博物館が主催する日本文化紹介のオンラインイベント。和太鼓公演、和食料理のデモンストレーション、日本酒やポップカルチャーについてのミニ講演等が14時より配信される。

(イ) Biblioteca Literária Online (国際交流基金)

日時：7月28日(水) 予定

サイト：https://fjisp.org.br/dossie_literario/ (国際交流基金サンパウロ日本文化センター公式HP)

内容：毎回1名の日本の作家をテーマに、様々な角度から紹介したエッセーを発信。

(ウ) Tradução em Foco (国際交流基金)

日時：7月30日(金)

サイト：<https://fjisp.org.br/traducaoemfoco/> (国際交流基金サンパウロ日本文化センター公式HP)

内容：ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者達の活動を紹介したエッセーを発信。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和2年度第四半期）は以下のとおり。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html